10月

カトリック麹町教会

# MAGIS

イグナチオ年

Ignatius 500

マジス　＝　「より、もっと、さらに」

2021年度 教会テーマ

困難の中で、イエスとともに希望の扉を開いていこう
祈り、つながり、協働する　　2030年に向けて一歩ずつ

聖イグナチオと私

## イグナチオとの出会い

協力司祭　マヌエル・シルゴ

私の家族がマドリードに到着したとき、私は6歳でした。それまでは、父が母の出身地であるサフラから転勤してきたトレドに住んでいました。父と母はサフラで出会い、結婚したのです。弟のラモン、妹のコンチータ、そして私はサフラで生まれた。私は2番目で、内乱戦争の真っ只中に生まれました。

私が4歳の時にトレドに来ました。兄と私はマリスト会の学校に通いました。今でもその頃の記憶が残っています。

マドリードに着いてから、両親は父の友人であるイエズス会の神父からもらった紹介状を携えて、兄と私をイエズス会の学校に連れて行きました。それは1月のことで学年はすでに2学期に入っていました。兄はすぐに受け入れられましたが、イエズス会は私が入学するには年齢が足りないと反対しました。私の両親は事情を説明しました。なぜ変更になったのかはわかりませんが、実際のところ、授業に出席した初日に兄が帰宅した際、同日午後に私が登校できることを知らせるように担当神父から言われたと両親に伝えました。

こうして、私とイエズス会との直接的な接触が始まったのですが、両親も私も誰も、これが私の「イエズス会」との人生の始まりだとは思っていませんでした。サンタ・テレサは〝神は曲がった線でまっすぐ書く〟と言っていますが、私は自分の経験から、この聖人は正しかったと断言できます。

学校では「サン・イグナチオ」の話を何度も聞かされただろうけれども、そのことをよく覚えていません。実は、高校の最後の年まで、私にとって聖イグナチオはそれほど知られた存在ではなく、彼が私の人生に大きな影響を与えたとは思えないのです。神に身を捧げた「イニーゴ」には憧れましたが、それ以上の存在はありませんでした。私がイエズス会の会員になることを決めたのは、当時知っていたイグナチオの霊に突き動かされたわけではありません。少なくとも、私はそう思っていましたが、彼がその「上」で綱を動かしていた可能性もあります。

修練院の最初の年の霊操は、イグナチオとの最初の密接な出会いでした。修道院と人文科学の3年間の後、私と仲間たちは哲学を学ぶためにアルカラ・デ・エナレスに移りました。アルカラで、私はイグナチオをよりよく知るようになりました。同級生で、後に修練院長やスペインのアンダルシア管区の管区長になった人と一緒に、むかしイグナチオがアルカラに泊まっていた病院の部屋を何度も訪れました。

アルカラでは、後にイエズス会の総長となるアドルフォ・ニコラスが聖イグナチオの手紙の索引を作成するのを手伝い、また、同じイエズス会の仲間と協力して、イグナチオの霊性に関する研究をいくつか発表しました。（6ページに続く）

### 教会報 MAGIS 10月号


| | |
|---|---|
| † イグナチオ・ユース・デー国際ミサ | 2頁 |
| † 祝！堅信式・初ミサ・叙階式 | 3頁 |
| † 教会学校・リーダー報告 | 4頁 |
| † イグナチオ年特集④ | 5頁 |
| † 特別寄稿「聖イグナチオと私」 | 6頁 |
| † 教会からのお知らせ | 7頁 |

# 共同体を生きる

## 【１０月の共同祈願】

世界各地では、さまざまな理由により、
紛争が起こっています。
その地域の人びとは、
生命や人権が脅かされています。
主よ！
自分ができる行動を起こすことができますように。

担当：共同祈願の会

**ミッション 2030**
**第３回「新しい協働」フォーラム**

**【テーマ】共同体の扉をひらく**
―コロナ禍の今、『信徒の交流』を考える―

**【日　時】**2021年10月17日（日）13 ～15時
詳しくは教会ホームページ、ポスター、
右記 QR コードをご確認ください。

## イグナチオ・ユース・デー国際ミサ

### 4つの青年会が合同開催
### 「神の僕としての使命を生き続ける」

**8月1日（日）、聖イグナチオ・デ・ロヨラの回心500周年を記念するイグナチオ年のお祝いとして、当教会の青年共同体（国際青年会、日本青年会、インドネシア共同体、ベトナム青年会）が合同でイグナチオ・ユース・デー（以下IYD）2021を開催しました。**

今年はテーマを「神の僕としての使命を生き続ける」と定め、120名強の青年が主聖堂でのミサに与りました。今回の青年ミサで特別だったこととして、音楽、典礼、ライブストリーミング、受付、広報、聖堂案内係のすべてのチームは、4つの青年会メンバー合同で構成されたことが挙げられます。緊急事態宣言下での企画、また言語が思うように通じない中での準備は簡単なものではありませんでした。特に、ミサ式次第やライブストリーミング素材の作成・翻訳といった地道な作業が非常に多くありました。

しかし、あまり目立つことのない裏方の仕事が多い中でも、青年たち一人ひとりがいつも最善のものを捧げ、寛大な心を持って共に働く姿がとても印象的でした。まさに、去年の集まりで深めたテーマ「MAGIS」が、私たちの心の中に生きていることを実感しました。

また、IYD2021のテーマソングとして作成したバーチャル合唱ビデオ〝Amare et Servire〟もすばらしいものでした。美しい歌声とともに、それぞれの青年会がこの状況下においても主を愛し、仕える様子を収めたビデオはイエズス会アジア太平洋協議会（JCAP）でも取り上げられました。

IYD2021は聖イグナチオ教会全体にとって記念すべきものとなったのではないでしょうか。私たちは多様性と一致の中で、共同体としてのすばらしい交わりと、キリストの教会への変わらぬ愛を体験できました。これからも青年会の垣根を越えて、兄弟姉妹とともに信仰を育み、またより多くの青年にこの灯火を分かち合いたいと思います。Ad Majorem Dei Gloriam！

（国際青年会代表　馬杉成華）

**IYD2021**
**テーマソング**
"Amare et Servire"
をぜひご視聴ください

## ロヨラの聖イグナチオ記念ミサ

### 回心から500年 聖イグナチオの生き方にならって

当教会の保護聖人、イグナチオ・デ・ロヨラが戦争で負傷し回心をしてから500年を記念したミサが主聖堂にて行われました。7月31日（土）は英隆一朗主任司祭、8月1日（日）はハビエル・ガラルダ神父司式のもとでとり行われ、聖イグナチオにならい、日々の生活の中で神のみ旨を見いだし、神にむかって生きる信仰心を新たにするお恵みをいただきました。

（担当H）

▲昭和26年にホイヴェルス神父により祝別された教会旗、イグナチオの像とともに

8月１日のミサは
こちらから
視聴できます

## 第2回堅信式

### 神の恵みを豊かにいただいて

コロナ禍により、今年度の堅信式は3回にわけて行われます。第2回は7月25日（日）10時のミサの中で、英隆一朗主任司祭、ハビエル・ガラルダ神父、古市匡史神父共同司式のもととり行われました。

新司祭としての初ミサとなった当教会出身の古市神父は、説教の中で「堅信の恵みは自分だけのものではなく、周りの人を生かすために与えられるもの」とお話しされました。

第3回堅信式は11月21日（日）10時のミサで行われる予定です。（担当H）

▲80名の信徒が聖霊の賜物を受けた

## 初ミサ

〈記念寄稿〉

### わが家のようにあたたかな教会で

古市匡史（ふるいちただし）神父

7月25日（日）、麹町教会での初ミサを捧げさせていただきました。今も思い出すだけで心が聖堂の白い祭壇へと飛んで行き、感謝と喜びにあふれます。

洗礼の恵みをいただいた教会で、一人の司祭として皆さんと共に主の食卓を囲めるとは、なんということでしょう！　神様がウインクしておられるようです。

▲叙階式にて。菊地功大司教、古市匡史神父（左）、小田武直神父

お世話になった教会は、どこも我が家のように感じますが、麹町教会は、いつ帰ってきても「実家でのあたたかい今」があり続ける場所です。

当日は素晴らしい堅信式も行われ、福音はパンを増やす奇跡でした。本当に主は、恵みを必要以上に徹底的に与えられ、それこそが主にとっては完全で現実的なことなのだと学ばせていただきました。等価交換的発想は神にはありません。このような機会を与えてくださった皆様に、心よりお礼申し上げます。

どうぞこれからも、家族として共に歩ませていただければ幸いです。

感謝と祈りのうちに。

**古市匡史神父　プロフィール**

1973年　福岡県生まれ
1994年　麹町教会（聖イグナチオ教会）にて受洗。大学卒業後、18年間企業に務めたのち、2015年神学校に入学
2021年４月29日　東京カテドラル聖マリア大聖堂にて司祭叙階
八王子教会助任司祭

## 叙階式

〈記念寄稿〉

### 「特別な時」に…

グエン・ヴァン・トアン神父

私は２０１３年にベトナムから来日したトアンです。ベトナム語のトアンは「完全」あるいは「全」を意味します。ところが、実際の私は全く何もない、不完全な人です。

それにもかかわらず、皆さんのお祈りのおかげで、神は私をご自分の司祭としてお選びになりました。「司祭叙階の恵みを受けることは私たちの修道生活の目的地ではないけれども、それでも特別な時であることには変わりません」というメッセージを、友人が送ってくれました。彼が言うように、「特別な時」として皆さんと共に神に感謝したいと思います。

また、「特別な時」として、私の人生における神の働きを振り返りました。はじめて司祭になろうと思ったのは12歳の頃でした。私が所属していたミサのない巡回教会の皆さんのために、ミサを捧げたかったからです。その「種」を、今日のように信者がミサに参加できない「特別な時」に、神は発芽させました。

どうか、芽が出たばっかりの司祭としての私のために祈ってください。

▲叙階式はオンライン配信された

**グエン・ヴァン・トアン神父　プロフィール**

1982 年10月１日生まれ
2008 年５月　イエズス会入会　修練と哲学を学ぶ
2013年来日
２年間日本語を学び、その後中間期生として鎌倉黙想の家、下関細江教会で過ごす
2018年　神学期に入る
2021年３月　助祭叙階
2021年９月４日　司祭叙階

教会学校

# リーダーが報告
# 夏の教会学校イベントを行いました

**緊急事態宣言が発令される中、教会学校の子どもたちはそれぞれの置かれた場所で、創意工夫を重ねて今年の夏休みを過ごしました。リーダーに、写真と共に感想をいただきました。**

**また、教会学校担当のお一人である柴田潔神父が、夏のイベントに代わる動画を作成。保護者に配信されました。（担当S）**

## 土曜学校
### 4日間リーダー劇を配信

土曜学校では夏のイベントとして、4日間に分けてリーダー劇を配信しました。

昨年度から引き続き今年度も教会ではみんなと集まれませんでしたが、みんなにとってこのリーダー劇が少しでも楽しい夏の思い出となっていれば嬉しいです。

また、2学期からみんなと教会で集まれるようお祈りしています。

（校長：交野彩奈＝あやぽん）

▲2021年　夏のリーダー劇「Princesses And Cursed Prince」　土曜学校

## 日曜学校
### リーダーから

コロナの影響で今年も夏キャンプは実施できませんでした。日曜学校のリーダー一同大変残念に思っています。先が読めない状況が続きますが、そんな中でも楽しく日曜学校に通ってくださるよう精一杯努力していきます。

これからも日曜学校をよろしくお願いします。

（日曜学校リーダー一同・校長：藤原明衡＝あっきー）

## 中学生会
### Zoomでミサや分かち合いを行いました

中学生会では夏イベントを教会にて企画していましたが、感染者増加に伴い断念。Zoomを用いたオンラインで、ミサ、イベント、分かち合いなどを行い、夏イベントとしました。

分かち合いでは「集団で生きること」をテーマにそれぞれ意見を共有しました。毎度のことですが、リーダーの想像を超える深い議論が行われました。

対面中止は本当に残念でしたが、オンラインでのイベントが、どうか中学生たちにとっての夏の良い思い出になっていてくれたらと祈るばかりですね。

（代表：今田大河＝たんたん）

## 高校生会
### オンラインイベント開催

8月9日にオンラインでイベントを行いました。昼の部と夜の部に分け、普段のオンライン活動とは違うものになりました。昼の部ではミサに与り、平和についての分かち合いをしました。また、連想ゲームなどをして楽しみました。夜の部では「自分の将来の理想像」というテーマの分かち合いをしたり、高校生会の歌作りをしたりしました。

直接会うことはできませんでしたが、真面目な話もゲームもでき、充実したイベントになりました。

（代表：西野莉香＝りこ）

▲2019年度　楽しかったキャンプ　雙葉山荘にて

## 侍者会
### ミサでのご奉仕休止中

活動休止の中、今後の状況の回復を見守りながら、活動再開を待っています。

（代表：棚橋清大郎＝たろう）

## カブトムシ動画を作成しました

夏イベント代わりの話し合いで「カブトムシならできます！」と名乗りを上げました。

2011年の東日本大震災支援から始めて11年目なので、何とかなるだろうと思い構想を練りました。香川照之の「昆虫すごいぜ！」を模してカブトムシの生育を紹介した後、後半では実際にカブトムシを育てている5人のお友だちにも登場してもらいました。残念ながらその部分は一般公開されていませんが、いつか自由研究の成果をご披露したいです。編集は越智通宣さん（子どもとともにささげるミサグループ）にお世話になり、カブトムシ献金20万円は難民支援協会に送金されました。

山口から連れてきた幼虫100匹は、37つがいの成虫になり、300匹を超える幼虫になりました。12世代目の来年が楽しみです！　詳しくは動画（QRコード参照）をご覧ください。

**（柴田潔神父）**

Ignatius500
イグナチオ年

# 聖イグナチオの伝記④
# 新たに見る

主任司祭　英　隆一朗

イグナチオがすさみから解放されたあと、いくつかの霊的体験をした。今回はそれを簡単に説明したい。

## 1．三位一体の神秘を体感する

私たちを悩ませる教義の一つが三位一体であろう。とても大切なものだが、その意味を正確に理解し、人に伝えることはとても難しい。

イグナチオは三位一体の神秘を3つの鍵盤のようなものとして内的に見た。その鍵盤のハーモニーが神の本質の同一性を奏でていたのだろう。彼はその素晴らしさのために、むせび泣きが止まらず、その感動は生涯消えなかったという。

…下の方を流れる川に向かい、しばらく腰をおろした。こうしてそこにすわっていると、理性の目が開け始めた。(略)霊的なこと、信仰および学問に関する多くの問題を理解し悟った。これによって非常に明るく照らされたので、すべてが新しく感じられた。(自叙伝30)

## 2．神の創造の神秘を見る

創世記の最初に記されている神の創造の神秘を、彼は内的な目で見た。人によっては創世記の描写をただの物語のように受け止めていることもあるだろう。しかし、それは神の現実の出来事であり、イグナチオはそれを見たのである。神がこの世を創造し、今も創造の業が働き続けていることは事実なのだ。

## 3．ご聖体の中に現存するキリストを内的に見る

時によっては、ご聖体の中に本当にキリストは現存されるのか、理性的に疑うこともあるだろう。目に見えないし、ホスチアの味が変わるわけでもない。プロテスタントが認めてない教えでもある。しかしながら、イグナチオはしっかりと聖体の中に神の現存を見いだした。

## 4．キリストの人性を内的に見る

私たちは聖書の中のイエスの話を読んで感動する。でも下手をしたら、過去の偉大な人物としてだけしか見ていないかもしれない。しかしイエスは今も生きておられる。イグナチオのような霊的目が開かれている人にとって、祈りの中で、イエスの姿を今も目撃することができるのだ。

彼の霊的体験はとても深かったので、たとえ聖書がなかったとしても、自分が見たことだけで信仰のために自分の命をささげる決意ができると述べている。

## 5．カルドネル川辺における知的直観

すべてのまとめがカルドネル川辺での神秘的照らしだと言われている。その内容は詳細に語っていないので、よく分からない。霊操の構想だけでなく、将来のイエズス会の設立まで示されたと言われている。その体験から、「すべてが新しく感じられた」(自叙伝30)と記されている。

このことばから、今年のイグナチオ年のテーマが取られた。つまり、「すべてのものをキリストにおいて新たに見る」である。イグナチオがマンレーサで祈りを深める日々を送った実りとして、新しさを手に入れた。私たちもイグナチオに親しくなることで、自分なりの新しさを見いだしていこう。

**◆見つめ直す◆**

①過去の体験をふり返ってみて、自分が新しくなれた特別の体験があるだろうか。それを思い出して、味わってみよう。

②コロナの自粛生活を改めてふり返ってみよう。その中で、どのような新しさに気づいただろうか。それを意識して、これからの生活の励みにしてみよう。

**YouTube 配信**
**「聖イグナチオの霊操」**

**配信日：毎週金曜日 17 時**
※９月から配信時間が変更になりました。

すべての動画は
左記 URL から
見ることができます。

Ignatius 500
イグナチオ年

# 〈特別寄稿〉聖イグナチオと私
# イグナチオの霊性との出会い

援助修道会 シスター 品川ヨシ子

わたしの所属する援助修道会は、イグナチオの霊性をいただいています。日常生活の中で神とどう関わっていくかを識別し、神のみ旨を探し続けます。こう話すと、なんと肩の凝る生活をしていることかと思われる方もあるでしょう。しかし信者であれば誰でも、毎日の様々な出来事の中に、神の呼びかけや促しを見て応えています。

わたしは広島教区の出身なので、大勢のイエズス会の神父さま方に出会ってきました。その生き方は、「この世」とかけ離れていない、しかし未だわたしの知らない「この世」のものではない世界を生きる魅力を感じる方々でした。

修道会探しを始めた頃は、第2バチカン公会議直後の宣教熱が燃え上がっていたころです。まだイグナチオを知らないわたしの目の前に働いておられる宣教師の方々の中に、フランシスコ・ザビエルを重ねていました。ザビエルのイエス宣教にかけた情熱にわたしも燃えていました。ザビエルはイグナチオを深く敬愛していたので、遠く離れた地に派遣された彼に届くローマの総長イグナチオの手紙のサインを切り取って肌身離さず身に着けていたと聞いて感動し、イグナチオがどんな人かを知りたいと思いました。

日本語教育は遅れ、優秀な宣教師の方々の言葉は、ただただしい日本語でした。しかし、精一杯、「はい」と応え派遣を生きられる英雄的な姿は感動的でした。彼らが目指す「神のより大いなる栄光のため」の熱意は、積み重ねられた隠れた誠実な毎日の姿に見えました。いつしか、わたしも奉献生活をしたいと望みました。最高の真珠発見の最初のころの出会いです。

◆

イグナチオ年を記念し、「聖イグナチオと私」をテーマに各方面の方々に寄稿していただき、不定期で掲載する予定です。この方の聖イグナチオとの関わりを聞いてみたい！　というご要望がありましたら、事務室までお寄せください（すべてのご要望にお応えできるとは限りません）。

---

**（1ページ シルゴ神父様巻頭言続き）**

私にとってアルカラでの3年間は、イグナチオと親密になるための機会でした。

イグナチオの霊性の研究は、私にとって非常に魅力的でした。私はそれを様々な機会に上長たちに伝えました。しかし、私が所属していた日本管区では、学校で働く人を必要としていました。こうして、私は司祭生活のほとんどを教育の分野で過ごすことになりました。

その後、日本管区の管区長補佐として5年、上石神井で6年働いた後、管区長は私を鎌倉の黙想の家に送ってくださいました。これでようやく、長い間望んでいたことに専念することができるようになりました。スペインの諺の通り、「幸せが良ければ遅すぎるということはない」のです。鎌倉での6年間は、主との個人的な触れ合いを求めて黙想の家にやってくる人々をお手伝いする仕事でした。

イグナチオのイメージと私との関係は、私の人生を通して変化してきました。今日、私にとってイグナチオは、リバデネイラ神父(※)をヨーロッパの反対側からローマに呼び寄せて勉強を続けるように励ました、愛と理解のある父親であり、イエズス会の人々の健康と休息を気遣い、必要ならば医者に支払うために聖杯を売ることさえ惜しまなかった父親です。イグナチオ神父は、時間をかけて仲間のイエズス会士に手紙を書き、彼らのすることすべてに関心を持ち、キリストとともに歩むこの冒険を続けるように励ました総長です。

そして私に対しても、イグナチオ神父は良き父として、私を励まし、頭は地上に、心は天に持つことを教えてくれました。

イグナチオ神父、身長が小さく、心が大きい、キリストに恋をし、彼を追いかけた回心した罪人です。

改宗500周年を迎えるにあたり、イグナチオは、〝すべてにおいて、愛し、仕える〟という生き方を学んだイエスに従う者であり続けるよう、私たちを励ましています。

（※編注）最初のイエズス会会員の１人。ラテン語で初めて「聖イグナチオ伝」を書いた

## ８月のお知らせ（2021 年８月 14 日抜粋）

緊急事態宣言を受けて、菊地大司教様より８月16日(月)から９月12日(日)まで公開ミサの休止が要請されました。それを受けて下記のように対応いたします。

**◇すべての公開ミサ休止**
・主日の公開ミサは休止。各言語非公開ミサの配信は継続します。
・平日の公開ミサ、聖体礼拝も休止。
・葬儀ミサは感染症対策をして行う。
・８月29日(日) 堅信式は延期。
・聖堂は日中開けていますので、静かにお祈りください。
**◇ゆるしの秘跡休止**
・定期的なゆるしの秘跡は行いません。
**◇諸活動の休止**
・全ての対面活動は休止し、オンラインで行う。
・エッセンシャル活動や教会運営上必要な集まりは、感染症対策の上、20名以下、短時間で行う。
・信徒会館開館は 10：00 ～ 19：00 まで。
・教会事務室の受付は 10：00 ～ 17：30 までに短縮。

この困難な日々を祈りのうちに忍耐をもって過ごしていきましょう。

主任司祭　英　隆一朗

## ９月のお知らせ（2021 年９月 10 日抜粋）

緊急事態宣言の延長に伴い、菊地大司教様より９月30日(木)まで公開ミサの休止延長が要請されました。それを受けて下記のように対応いたします。

**◇左記８月14日付けのお知らせ内容を９月30日(木)まで継続します**
**◇その他**
・９月18日(土)12時の高齢者ミサとその後に予定していた高齢者への病者の塗油は中止します。
・重大な手術や病状の悪化などがある方は、事務室に連絡して、病者の塗油をお願いしてください。司祭が授けに行きます。司祭団は全員ワクチン接種２回を終了しています。
・主日ミサはオンラインで視聴してください。自分の分身として折り鶴を送り、ミサに参加しましょう。
・９月からオンライン霊操講座を再開しています。
・９月は「すべての命を大切にする月間」です。環境破壊がコロナ禍の一因とも言われます。自然を大切にする生き方を改めて見直してみましょう。
・グエン・タン・ニャー神父が当教会協力司祭に復帰しました。

教会で顔を合わすことができる日が早く来るように、どうぞお祈りください。
主における忍耐と希望をもって励まし合っていきましょう。

主任司祭　英　隆一朗

## ９月の宣教司牧評議会からのお知らせ（９月２日開催）

・教会祭は 10 月 10 日(日)に「イグナチオ年のお祝い～希望～」をテーマに 11 時からインターナショナルミサを行い、13 時から交流イベントとしてトークショー、バーチャル巡礼などを開催します。このミサとイベントはオンライン配信のみで行います。また、この日の８時半、10 時、外国語ミサはありません。**※教会祭の最新情報は、教会ホームページを参照してください。**
・ミッション 2030 小委員会の委員がミッション 2030 促進チームから４名、信徒評議員から４名、活動連絡会議幹事から３名が選任され了承されました。
・堅信式第３回は、11 月 21 日(日)10 時ミサで行います。
・10 月 23 日(土)長寿の集いは中止とします。
・10 月クリーンアップ月間は、コロナ禍感染状況に鑑み企画を中止します。

**今後の行事について**　★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定が変更になる場合があります。

**≪ 10 月≫**
10 日(日) 教会祭　11 時
17 日(日) ~~新受洗者転入者のためのオリエンテーション 10 時~~ →コロナ禍のため中止します。
ミッション 2030　第３回「新しい協働」フォーラム　13 時
24 日(日) 幼児洗礼式　10 時ミサ
31 日(日) 結婚感謝ミサ　10 時ミサ

**≪ 11 月≫**
２日(火) 死者の日ミサ　12 時、18 時
６日(土) 2020 年度合同追悼ミサ(第２回) 10 時
七五三祝福式　15 時 30 分
20 日(土)　新受洗者のためのフォローアップ講座
21 日(日)　第３回堅信式　10 時
23 日(火・祝)　教会黙想会
11 月 24 日(水)～ 12 月２日（木）聖フランシスコ・ザビエルの取り次ぎを願う９日間の祈り
28 日(日) クリスマスバザー

**≪ 12 月≫**
12 日(日) ミッション2030　第４回「新しい協働」フォーラム
18 日(土) 子どもと家庭のクリスマスミサ　14 時
24 日(金) クリスマスイヴミサ　時間未定
25 日(土) クリスマスミサ

**聖イグナチオ教会 あしたのいえプロジェクト**

生活困窮者の一時的な居所（シェルター）の提供を行っている団体です。お気軽にフォローしてください～
(^ ▽ ^)/

**ホームページ**　**インスタグラム**

## イグナチオ連壇④

神父様の
サスペンダー見て
元気もらう
無地の心が
カラフルになる
（マリア フランシスカ）

現在ならば
手握ることも
ままならぬ
禍知らず逝った
父母や幸せ
（くまちゃん）

**募集**　カトリック信仰生活にまつわる川柳・俳句・短歌・詩などでつなぐ「イグナチオ連檀（イグ壇）」への投稿を募集します。

3つのお題（①イグナチオ　②神父様　③コロナ）の中から一つを選び、作品に入れてください。

【応募方法】①ハガキにて教会事務室あて郵送。または、②教会事務室脇の応募箱に投函

＊応募の際は、掲載するペンネーム（雅号、霊名など）、氏名、年齢を明記

＊未発表のものに限ります

＊作品は**原文のまま**掲載します

【発表】選考の上、適宜マジス紙面に掲載

## 10 月の典礼と行事

| | |
|---|---|
| 1　（金）初金曜日 | |
| 2　（土） | 教勢調査　18：00 ミサ |
| **3　（日）年間第 27 主日** | 教勢調査　7：00　8：30　10：00　18：00　日本語ミサ<br>12：00　12：30　13：30　15：00　16：00　16：30　外国語ミサ |
| **10　（日）年間第 28 主日** | **教会祭 11：00 オンラインインターナショナルミサ　13：00　オンラインイベント** |
| **17　（日）年間第 29 主日** | **~~新受洗者と転入者のためのオリエンテーション　10：00　ヨセフホール（中止）~~**<br>**ミッション 2030　「新しい協働」フォーラム③　13：00** |
| 23　（土） | **~~長寿の集い（中止）~~** |
| **24　（日）年間第 30 主日** | **幼児洗礼式（第 2 回）　10：00 ミサ　世界宣教の日・献金** |
| **31　（日）年間第 31 主日** | **結婚感謝ミサ　10：00 ミサ** |

**新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定が変更になる場合があります。**

主任司祭：英　隆一朗
助任司祭：ボニー・ジェームス
　　柴田　潔
協力司祭：ヘネロソ・フローレス
　　ハビエル・ガラルダ
　　グエン・タン・ニャー
　　マヌエル・シルゴ
ブラザー：吉羽　弘明
シスター：イベッテ・サンチェス
　　（セントロ・ロヨラ）
　　フロール・フロレーセ
　　（ジョン・デ・ブリット　イングリッシュセンター）

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

**ミサ時間　Mass**

**【平日 Weekday】**
7 :00（聖体顕示）主聖堂　Main Chapel
12:00/18:00（ミサ又は聖体顕示、聖堂は要確認）

**【日曜日 Sunday】主聖堂　Main Chapel**
土曜 18:00/7:00/8:30/10:00/18:00
12:00（English）/13:30（Español）/
15:00（Việt Nam）/16:30（English）

**【月の第 1 日曜日 1st Sunday】**
Our Lady's　Chapel
12:30（Português）/16:00（Polski）

**【月の第 2 第 4 日曜日　2nd & 4th Sunday】**
Our Lady's Chapel　16:30（Indonesian）

**カトリック麹町教会**
**（聖イグナチオ教会）**
〒 102 － 0083
千代田区麹町 6 － 5 － 1
TEL 03 － 3263 － 4584
FAX 03 － 3263 － 4585
http://www.ignatius.gr.jp

ホームページ　フェイスブック

マジスへのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。